

創刊110周年記念

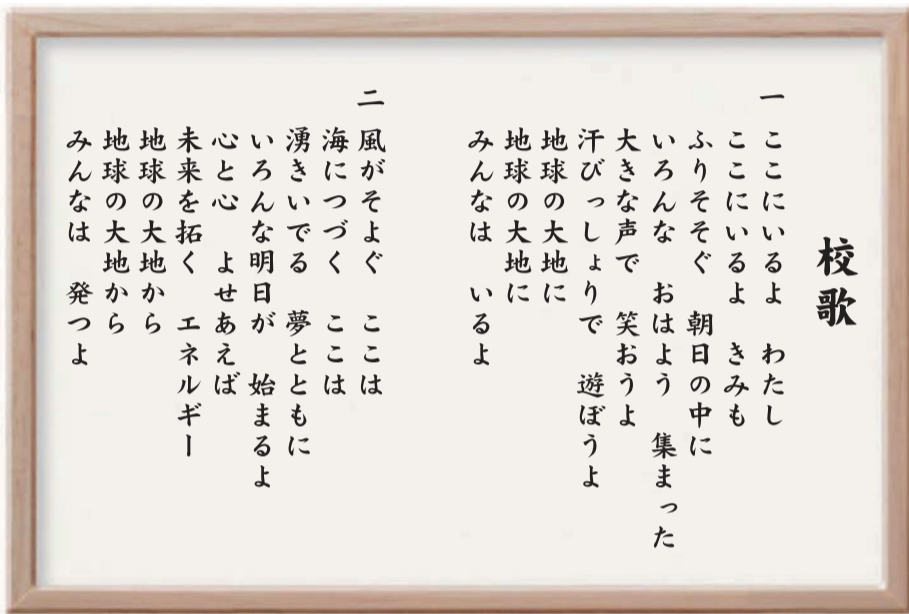
誇れるふるさと

24地区リレー

〈vol.20〉

〈黒石③ 小学校歌〉

黒石小（原田健一郎校長、684人）は、厚南平野の中心部に位置し、市道黒石目出線に隣接した塩屋台にある。来年度は開校30周年の節目を迎える。校歌は開校した1994年度に一般公募して完成。「地球の大地（こゝ）に」という題名で、他校で見られる地域特性の紹介の詞は無く、斬新な試みとグローバルな視点が盛り込まれている。



校歌

一 ここにいるよ わたし
ここにいるよ きみも
ふりそそぐ 朝日の中に
いろんな おはよう 集まった
大きな声で 笑おうよ
汗びっしょりで 遊ぼうよ
地球の大地に
地球の大地に
みんなは いるよ

二 風がそよぐ ここは
海につづく ここは
湧きいでる 夢とともに
いろんな明日が 始まるよ
心と心 よせあえば
未来を拓く エネルギ
地球の大地から
地球の大地から
みんなは 発つよ



黒石小

子どもが主役の歌詞、爽やかな曲調
学校名や地域特性など登場せず

校歌制定委員会を結成して、明るく親しみやすい歌詞を募集した。23編の応募の中から、当時、

レーズは、グローバルな視点に立つ。また、学校名も登場せず、革新的なものになっている。

よりで『遊ぼうよ』の詞から、学校の日常が感じられる。子どもたちが、自分のことだと思つて歌えるところがいいと語る。また、「大地」を「こ」と歌うのは「地球のどこにいても、自分がいる場所が中心で、みんなが主役なんだという印象を受ける。歌が応援してくれているようにも思える。

山口市の小学校教諭だった山本太起子さんの作品を採用。山口女子大（現在の県立大）の非常勤講師だった田村洋さんが曲を付けた。

歌詞は、子どもたちの存在感を強調。「心と心よせあえば 未来を拓ひらく エネルギ」などのフレーズは、「いろいろなおはよう 集まった『汗びっし

曲は明るく歌いやすいハ長調で、爽やかなメロディーとなっている。校歌について、原田校長は「『いろいろなおはよう 集まった』汗びっし

を付けた。

同校は今年度、表現力を育てること、健康教育の推進などに力を入れる。